

なかべ学院  
中部少年学院後援会

〒750-0081  
山口県下関市彦島角倉町  
3丁目6番17号  
TEL (083) 266-1934  
発行 広報部  
印刷  
(株)ナカハラプリンテックス  
TEL (083) 266-4601

題字 小野倉蔵

# そよかぜ



## 新任のご挨拶

院長 小田 崇明

児童養護施設なかべ学院

本格的な夏に向けてのりハールはお済みでしょうか。平素は、当学院に対して、多くのご支援・ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。おかげをもちまして、お預かりしている40名の子どもたちは、皆元気に毎日を過ごしております。

さて、私こと、この度、奥野前院長の後任として、四月より児童養護施設なかべ学院の院長を仰せつかりました。小野倉蔵先生から始まり繋がってきたバトンを受け継ぐことに、大変身の引き締まる思いがいたします。そして、皆様方のお力添えなくしてはこの重責を果たしえません。どうぞよろしくお願いいたします。

なかべ学院では、今年度4月の改正児童福祉法の施行後、子どもアドボケイト(意見表明支援員)の方が月2回訪問されるようになりました。以前より「子どもたちの声は聴こう・言いたいことを言語化していこう」としてきましたが、より一層丁寧な関わりが出来るのかなと思っております。また、二十歳を超えた子どもたちの自立支援(自立生活援助事業)として5月に1名、10月に1名の子が施設より大学等に通うようになりました。給付型の奨学金も充実してきており、大学等進学希望する子が増える様に願っています。さらに、虐待を受けた子の治療的ケアや発達リスキを抱える子どもたちの心理的ケアに対応できるように職員研修の充実を図っています。

私たちは、生活だけでなく、これらの変化に対応し、子どもたちの成長と幸せをサポートしていきます。切れた根っこを少しでも繋げていけるように関係機関や皆様とともに歩んでいきたいと思っております。

今年度は、後援会発足30年となります。後援会の皆様をはじめ多くの皆様のご支援とご協力により、子どもたちが安全に安心して成長できる環境を提供することが出来ています。日々、子どもたちの笑顔や成長を見るのが私たちの喜びであり、その一端を皆様と共有できることをうれしく思います。これからも子どもたちの未来に向けて共に歩んでいけるよう、より良い施設づくりに努めてまいります。



## 新任挨拶

児童養護施設

子どもたちも職員も明るく楽しく生活できるように、全力でサポートしていきたいと思っております。

児童指導員 山田 良雄

お菓子作りをしたり、楽しい事を沢山したいです。

生活支援員 中西 恵理

子どもたちと良い関係を築けるように精一杯頑張ります。

保育士 田邊 七春

子ども達が安心して楽しく過ごせるように考えて、日々成長していきたいと思っております。

児童指導員 村田 将伍

子ども達と良い関係が作れるよう努めます。

保育士 原田 葉奈

先輩職員の動きをよく見て子どもたち一人一人に寄り添える職員を目指して日々頑張りたいと思います。

保育士 河口 知璃

## 乳児院

笑顔を忘れず、子どもたちと毎日楽しく過ごしたいです。

保育士 藤川 彩希

子どもたち一人一人に丁寧に寄り添い、皆が安心して過ごせる環境を作れるように努めていきます。

児童指導員 安永 桃子

### 令和5年度 収支報告書

社会福祉法人 中部少年学院後援会 (単位 円)

項目	予算額	決算額	差引	摘要
年会費	1,200,000	898,000	-302,000	団体(32社) 390,000円 個人(172名) 508,000円
寄附金等	-	6,399	6,399	
雑収入	-	295,907	295,907	前年度貸付金返金分 200,000円 小学生スポーツ文化活動奨励費戻入金 95,907円
利息	50	50	-	
当期収入計	1,200,050	1,200,356	306	
事業費	810,000	374,100	-435,900	学院支援費 円 院旗・国旗 144,100 両面掲示板・アルミポール 110,000 自動車免許習得費用(1人5万) 0 高校生クラブ活動奨励金 0 小学生スポーツ文化活動奨励金 20,000 卒校生・予定児童2名 0 高校生スマホ通話料補助 0 卒校生自立支援費 100,000 学院祭費 0
広報費	160,000	151,800	-8,200	広報誌(そよかぜ) 49号 700部 151,800
総務費	100,000	35,845	-64,155	通信費(広報誌送料等) 30,835 会議費 5,010
助成費	190,000	58,000	-132,000	助成金 自主研修補助 0 ふれあいステーション 0 オレンジボン 30,000 チャイルドライン 20,000 チャイルドライン年金費補助 8,000
雑費	10,000	2,530	-7,470	振込み手数料
予備費	100,000	-	-100,000	
当期支出額	1,370,000	622,275	-747,725	
当期収支差額	-169,950	578,081	748,031	
前期末繰越金	5,912,159	5,912,159	-	
次期繰越金	5,742,209	6,490,240	748,031	

社会福祉法人 中部少年学院 後援会 様  
令和5年度の収支について、上記のとおり報告いたします。  
令和6年5月9日  
会計 武田 玲奈  
監査の結果、上記のとおり整理されており正当と認めます。  
令和6年5月9日 社会福祉法人中部少年学院 後援会  
会計監査 松井 重人

### 財産目録

令和6年3月31日現在 社会福祉法人 中部少年学院

資産・負債の内訳	金額
I 資産の部	
1 流動資産	297,449,677
2 固定資産	822,082,302
3 その他の固定資産	348,937,257
資産合計	1,468,469,236
II 負債の部	
1 流動負債	81,690,503
2 固定負債	110,856,868
負債合計	192,041,501
差引純資産	1,276,427,735

### 令和5年度 社会福祉法人 中部少年学院 資金収支計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日 (単位: 円)

勘定科目	合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	なかべこども児童支援センター	障害児通所支援事業所
収入						
児童福祉事業収入	733,456,599	0	349,759,663	344,756,206	38,940,730	0
障害福祉サービス事業収入	50,932,779	0	0	0	0	50,932,779
雑収入	4,599,923	1,535,076	2,198,659	746,000	9,600	110,588
寄付金収入	64,891,489	64,505,314	120,000	266,175	0	0
受取利息配当金収入	5,838	517	1,182	3,734	24	381
その他の収入	312,414	0	249,414	63,000	0	0
事業活動収入計(1)	854,199,042	66,040,907	352,328,918	345,835,115	38,950,354	51,043,746
人件費支出	597,635,800	1,101,320	249,489,141	27,175,466	46,760,780	43,281,358
事業費支出	82,526,151	0	48,327,325	27,175,466	0	7,023,360
事務費支出	36,944,425	1,818,341	17,758,479	10,434,312	4,948,274	1,985,019
支払利息支出	21,250	0	21,250	0	0	0
事業活動支出計(2)	717,127,626	2,919,661	315,596,195	294,612,979	51,709,054	52,289,737
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	137,071,416	63,121,246	36,732,723	51,222,136	12,758,700	-1,245,989
収入						
施設整備等補助金収入	617,500	0	304,000	0	0	313,500
施設整備等収入	170,570	0	160,000	10,570	0	0
施設整備等収入計(4)	788,070	0	464,000	10,570	0	313,500
施設整備等資金収支差額(5)=(4)-(3)	5,232,000	0	5,232,000	0	0	0
収入						
施設整備等収入	4,339,738	0	733,700	3,292,538	0	313,500
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	9,571,738	0	5,965,700	3,292,538	0	313,500
収入						
施設整備等収入	3,185,188	0	1,348,222	1,836,966	0	0
施設整備等収入計(7)	13,200,000	0	0	0	0	13,200,000
施設整備等資金収支差額(8)=(7)-(6)	16,385,188	0	1,348,222	1,836,966	0	13,200,000
収入						
施設整備等収入	57,157,516	0	2,991,391	53,079,309	519,990	566,826
施設整備等収入計(9)	13,200,000	350,000	0	12,850,000	0	566,826
施設整備等資金収支差額(10)=(9)-(8)	70,357,516	350,000	2,991,391	65,929,309	519,990	566,826
収入						
施設整備等収入	53,972,328	350,000	1,643,169	64,092,343	12,680,010	566,826
施設整備等収入計(11)	74,315,420	62,771,246	29,587,854	16,152,175	78,690	1,812,815
施設整備等資金収支差額(12)=(11)-(10)	178,912,754	31,351,920	23,607,032	75,001,926	920,160	48,031,716
収入						
施設整備等収入	253,228,174	94,123,166	53,194,886	58,849,751	841,470	462,181,901

## 編集後記

色とりどりの紫陽花が 綺麗な花を咲かせています。傘をさすのが楽しい子、長靴を履くのが楽しい子等子供達は元気に過ごしています。今年の「さつき祭」は、なかべ名物「愛情後援会焼きそば」、民生児童委員の皆様による「福祉お抹茶」、伝統の山中町の平家太政官保存会の出演など後援会設立30周年にふさわしい祭りとなりました。なかべ学院も、小田崇明先生が新しく院長に就任されました。小田先生は後援会広報誌の担当として、創刊号から五十号までご指導いただきました。

後援会も地域と学院と手を携えて、学院が掲げる「はくくむ(愛護)」「ははた(自立)」「ささる(共生)」の養育目標を実施すべく、支援・協力していきます。

副会長 太刀山 逸男

---

## 後援会加入のお願い

法人年会費 一口 一万円  
個人年会費 一口 千円

何口加入されてもかまいません。お問い合わせはなかべ学院まで  
TEL 083-266-1934

「克」の一字  
克己と言え、己に勝つ、私欲に打ち勝つこと。  
私欲に流されず、強い信念のもとに行動する心の動きを克己心と言います。大事にしたいですね。(克は重い兜を被った人の象形で重さに耐え打ち勝つという意味を示します)

理事 石川 啓

啓さんの知恵袋



児童養護施設

副院長 福川 真由美

令和6年度、5ホーム(鳥・風・山・中・角倉・角倉海)40名でのスタート。ホームを移動・担当職員が変更になった児童... 環境が大きく変化してから2ヶ月が経ちました。また、異動・新任職員11名が仲間入りし、職員体制にも大きな変化がありました。この環境の変化に、児童、職員共に不安いっっぱいのスタートだったことと思います。児童からは笑声、怒った声、泣き声が聞かれ、喜怒哀楽の感情を表出します。時に職員を困らせる言動もありますが、年下の面倒を見たり、職員を気遣う言動も沢山見られます。日々、当たり前の生活を送れることに幸せを感じています。ゴールデンウィークはホーム毎に計画を立て、動物園・映画鑑賞・ボーリング・バーベキュー等を楽しみました。中でも、若松区グリーンパークのイベント(おにぎり)に、宝のありかを探し出せ(に)申し込み当選し、小学生高学年が参加した活動は最高に楽しかったようです。鬼を怖がり逃げ惑う児童。我先に逃げる児童。その頑張りのおかげ、見事優勝することが出来、学院で大盛り上がりしました。社会性を身に付けると共に、楽しい学院生活を過ごせるように、学院内・学院外で様々な経験の場を設けたいと考えています。学院外で様々な経験の場を設けたいと考えています。学院外で様々な経験の場を設けたいと考えています。学院外で様々な経験の場を設けたいと考えています。



乳児院

里親支援専門相談員 鶴 敏子

令和6年度の乳児院は、院長より「世界一笑顔の素敵な乳児院」の言葉でスタート致しました。4月、新しいホームへ移動した児童や職員は、毎年の事ながらざわざわとした様子が伺えました。その様な中でも、こも達の不安を軽減できるよう養育者も一生懸命笑顔での働きかけに努めました。現在は、こも達の笑い声やお喋りも多くなつて、院外へのお出かけやお散歩も楽しんでいく状況です。又、以前より取り組んでいるホームでの汁物作りやお楽しみ献立は、担当のこももと一緒に野菜を切ったり、食事の準備の手伝いをしたりして嬉しそうな表情を見ていると家庭と変わらない風景と実感、養育者としても一層の家庭力に磨きをかけて努力をお願いします。今年度より、新しい取り組みの一つに、地域家庭支援に特化した「ベビィ食堂(パパママカフェ)」や地域の子育て家庭への訪問をスタートさせ試行錯誤しておりますが、皆様のニーズに応じた取り組みを模索し続けたいと考えております。又、家庭からのショートステイ・トワイライト等のレスパイトについては、子育て短期支援事業として、積極的な受け入れを実施しており、今後も丁寧な対応に努めてまいります。里親支援については、委託里親さんやマッチング中の里親さんへの相談支援に努めながら、昨年度は6名の里親委託があり、こも達の健やかな成長を願うと共に「幸せになってね」と笑顔で見送りました。



そよ風

所長 原 田 晴生

「障害児通所施設そよ風」は、10年前の平成26年に開設した児童発達支援と放課後デイサービスの2つのサービスを提供する多機能型事業所です。障害をお持ちのお子様やそのご家族を支援するための場所です。私たちの使命は、お子様が個々の能力を最大限に発揮し、自己を表現し、成長することを支援することにあります。そよ風では、8名の専門スタッフ、それぞれが二の腕に合わせたプログラムを提供し、安全かつ温かい環境の中でサポートいたします。また、そよ風のように、そよと背中を押してくれる場所です。障害児通所支援施設そよ風が地域の一員として、より良いサービスを提供し、皆様の笑顔と成長を見守ることを心から願っております。皆様のご理解とご支援に心より感謝申し上げます。今後とも、障害児通所施設そよ風をどうぞよろしく願い申し上げます。最後に、簡単なご挨拶をさせていただきます。今年度より、障害児通所施設そよ風の新しい所長に就任いたしました原田晴生です。実は、児童養護施設からの異動で障害児通所施設での経験は初めてです。驚きと新たな挑戦の連続ですが、児童養護施設での経験をフル活用し、施設のさらなる発展に努めてまいります。温かい応援と一緒に、ぜひ見守っていただければ幸いです。



【寄附・寄贈】 (順不同 敬称略) 令和5年4月1日~令和6年3月31日 たくさんの方の皆様のご支援に心から感謝申し上げます

(団体)

- 林産業株式会社下関工場
一般社団法人東日本大震災雇用教育・健康支援機構
株式会社準組
NPO法人子どもの教育・生活支援「アニー基金」プロジェクト
サンタプロジェクトs Nakama
有明社山田仏壇店
マルハニチロ株式会社
セブンイレブン下関球場前店
下関青年神職会
株式会社山口
平成の会
特定非営利活動法人ブレイクアワード オープン
彦島八幡宮
BNR
(宗) 永福寺
住吉工業株式会社
下関ロータリークラブ
社会福祉法人山口県社会福祉協議会
山口県遊技業協同組合
株式会社光陽社自習ノート事務局
下関短期大学付属第2幼稚園
株式会社ブリヂストン下関工場
山の田なか食堂
山口防災工業株式会社
株式会社フレール館
亀山八幡宮
下関唐戸魚市場株式会社
唐戸市場業者連合協同組合
唐戸水産物協同組合
下関唐戸魚市場仲卸協同組合
下関沿岸漁業生産者事業協同組合
活いき馬関街
下関そよ風産直売組合
唐戸市場関連業者組合

- 有限会社喜楽
株式会社ものぼんく
MHI下関エンジニアリング労働組合
下関中央ロータリークラブ
関門港湾建設株式会社
カンティナー・ラガッツァ
かへの集い
角倉町自治会
株式会社Bewin
一般財団法人日本児童養護施設財団あしながサンタプロジェクト事務局
NHK山口放送局
山口県信用農業協同組合連合会
山口県農業協同組合
山口県漁業協同組合
夢現の会
日本基督教団長府教会
三井化学労働組合
宇部魚市場株式会社
手作りスタンププロジェクト
日本ベビィフード協会
株式会社クレイブ
株式会社ダイナム
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
国際ソロプチミスト東下関
匿名

紙風船
「新つ風」
センター長 畑 村 泰 至
本年度より下関市に「下関市こども家庭センター(以下:こ家セン)」が創設されました。これは、こども家庭支援拠点事業と保健センターの母子保健部門を統合し、産前からの切れ目の無い家庭支援を行うもので、昨年創設された「こども家庭庁の目玉施策」でもあります。これまで、紙風船はこども家庭支援拠点事業を下関市こども家庭支援課と協働で行ってきました。こ家センに枠は変わりましたが、引き続きこれまでの業務は継続いたします。また、本年度から「子育て世帯家事・育児訪問事業」という新しい事業も本格的に始動しました。従来の養育支援訪問事業の家事・育児支援を拡充した事業で、利用者のニーズにしっかりと応えていきたいと思います。児童相談所からの指導委託件数は、昨年度は前年より四件増えています。マルチリポートメント子育てへの指導支援を児相と協力して行っておりますが、ベアトリーやアンガーマネジメントなどの指導を依頼されることも増え、応えなくてはならない要求も高くなってきております。



- 小園 喜代子
土屋 茂康
河野 洋子
中村 精治
西山 一夫
門司 一徹
平田 康子
佐久間 一
黒津 愛奈美
藤永 健一
河野 清志
中尾 清和
荒木 正和
松村 久
福永 加代子
有田 久
岩崎 順一
田中 作治
脇田 良明
内牧 和博
東海林 拓也
山下 賢一
吉田 卓平
岡村 浩司
倉益 佐由美
三松 康裕
岡 恩夏
大井 珠美
塩屋 康子
亀田 清紀子
藤田 昌雄
早崎 清
石川 啓
弘山 直滋
榎 克己
木上 幸子
尾之上 寧生
志村 穂二
戸倉 淳
植田 由起子
栗屋 幹雄
前田 作
古川 純
西川 ゆう子
松尾 正江
上野 妙子
村岡 真
赤木 まどか
大江 正人
伊藤 篤志
田中 明雄
匿名

紙風船
「新つ風」
センター長 畑 村 泰 至
本年度より下関市に「下関市こども家庭センター(以下:こ家セン)」が創設されました。これは、こども家庭支援拠点事業と保健センターの母子保健部門を統合し、産前からの切れ目の無い家庭支援を行うもので、昨年創設された「こども家庭庁の目玉施策」でもあります。これまで、紙風船はこども家庭支援拠点事業を下関市こども家庭支援課と協働で行ってきました。こ家センに枠は変わりましたが、引き続きこれまでの業務は継続いたします。また、本年度から「子育て世帯家事・育児訪問事業」という新しい事業も本格的に始動しました。従来の養育支援訪問事業の家事・育児支援を拡充した事業で、利用者のニーズにしっかりと応えていきたいと思います。児童相談所からの指導委託件数は、昨年度は前年より四件増えています。マルチリポートメント子育てへの指導支援を児相と協力して行っておりますが、ベアトリーやアンガーマネジメントなどの指導を依頼されることも増え、応えなくてはならない要求も高くなってきております。おかげさまで紙風船は、古屋町に移転して六年目になります。市の事業、児相の指導委託を除く、紙風船の本来業務の相談支援件数は、毎年過去最高を更新しております。こ家セン創設など新しい風も吹いてきており、「こどもまんなか」の実現に向けて、紙風船も鋭意努力していく所存です。